

とよはし市電を愛する会

1990年11月22日設立 会員 250名
会費 個人¥3,000、家族¥2,000、学生¥1,000、法人¥10,000

活動報告(令和4年10月～令和5年12月) ※当会年度は1月始まり12月終わり

【令和4年度】

- 10/29・30 第15回全国路面電車サミット長崎2022(杉浦顕倫理事)
- 12/8 理事会(第9回)・カレンダー発送作業委員会
- 12/14 公共施設・学校・友好団体・報道関係者等へカレンダー配布(黒谷参与・黒谷理事・鈴木事務局長)
- 12/14 機関誌「市電文化」リニューアルPR新聞社廻り(高須博久会長・小林孝壽理事)

【令和5年度】

- 2/21 寄付金(地域公共交通活性化基金)贈呈式 ¥154,100(いい市電を)
- 2/26 総会(ほつトラム車内)・新年懇親会(3年振り開催)
- 4/9 「市電の日」イベント JR東海さわやかウォーキングとコラボ
- 8/26.27 宇都宮ライトレール視察(内山知之理事・小林孝壽理事)
- 8/22 4年ぶりの「会員懇親ビール電車」
- 11/7 おでんしゃ試乗会(伊奈彦定顧問・高須博久会長・鈴木事務局長)
- 11/8 官民学(市役所・豊橋鉄道・愛する会・豊橋技術科学大学・愛知大学)懇談会
- 11/25 中部地区路面電車サミット(杉浦顕倫理事)
- 12/14 理事会(第6回)・カレンダー発送作業委員会

今後の予定 2/6 懇親おでんしゃ 2/18 総会・新年懇親会 4/7 市電の日イベント

ASITA(北勢線)とまち育みを考える会

平成16年3月設立 会員34名
年会費1,000円

ASITA(アシタ)は、近鉄が北勢線から撤退表明した際に存続運動を展開。阿下喜駅を残す会・北勢軽便鉄道をよみがえらせる会が合体して設立。

・会設立当初からずっと続けている定例イベント

当会では設立当初から、月2回、阿下喜駅前で軽便鉄道博物館を開設。軽便鉄道の資料展示の他、15インチミニ電車運行、軌道自転車など、楽しみながら北勢線の理解を深めてもらっています。



・令和4年12月から勉強会を始めた。北勢線が三岐鉄道に経営移管されてから20年。この間、鉄道事業者や地域の市町において様々な施策が実行され、利用者数はコロナ前までは何とか微増基調を続けてきました。しかし、20年という月日を経る中で当初の緊張感は次第に薄れていき、漫然と赤字補填だけが継続されている状況に陥っており、北勢線の将来像すら描けていない現実。そんな状況が続けば、近い将来20年前と同じことを繰り返してしまうのではないかという危機感を覚え、もう一度原点に立ち返って地域の交通とまちづくりを考える勉強会を立ち上げました。1・2カ月に一度、平日の夜19時から地域の集会所に集まって2時間程度、いなべ地域の公共交通に関わるテーマで話題提供と参加者全員のディスカッションを行っており、地方紙に何度か記事として掲載されました。参加者は各回20名程度ですが、その多くはいなべ市議会議員で、一般市民の参加が少ないところが課題です。地域住民の意識を変えていくのは一筋縄ではいきませんが、小さいことから積み上げていくことが必要だと感じています。